



桜山地区 第二回ワークショップレポート

第一回のワークショップで集まった地区の「困りごと」や「自慢」を踏まえ、第二回のワークショップでは、「困りごとを解決するとどんな地区になるか」「今ある魅力や取組みを生かして、どんな地区にしていきたいか」を話し合いました。

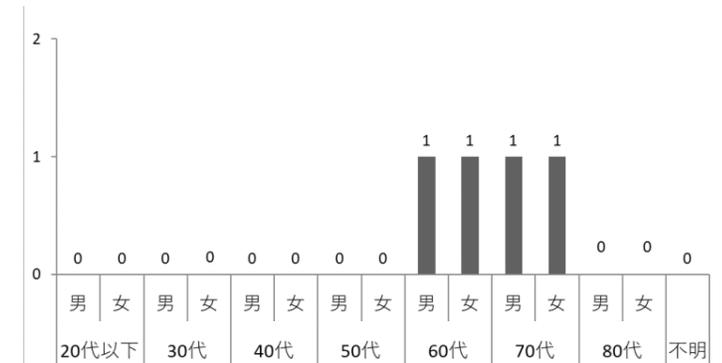
その後、目指す地区になるために「今、地区や自分でやっていること」「今後、自分がやってみたいこと」「自分でなくてもやったほうがいいこと」などのアイデアを出し合い、「地区で目指す姿」「具体的な取組みの例」としてまとめました。

日時：9月19日（木）18時30分～

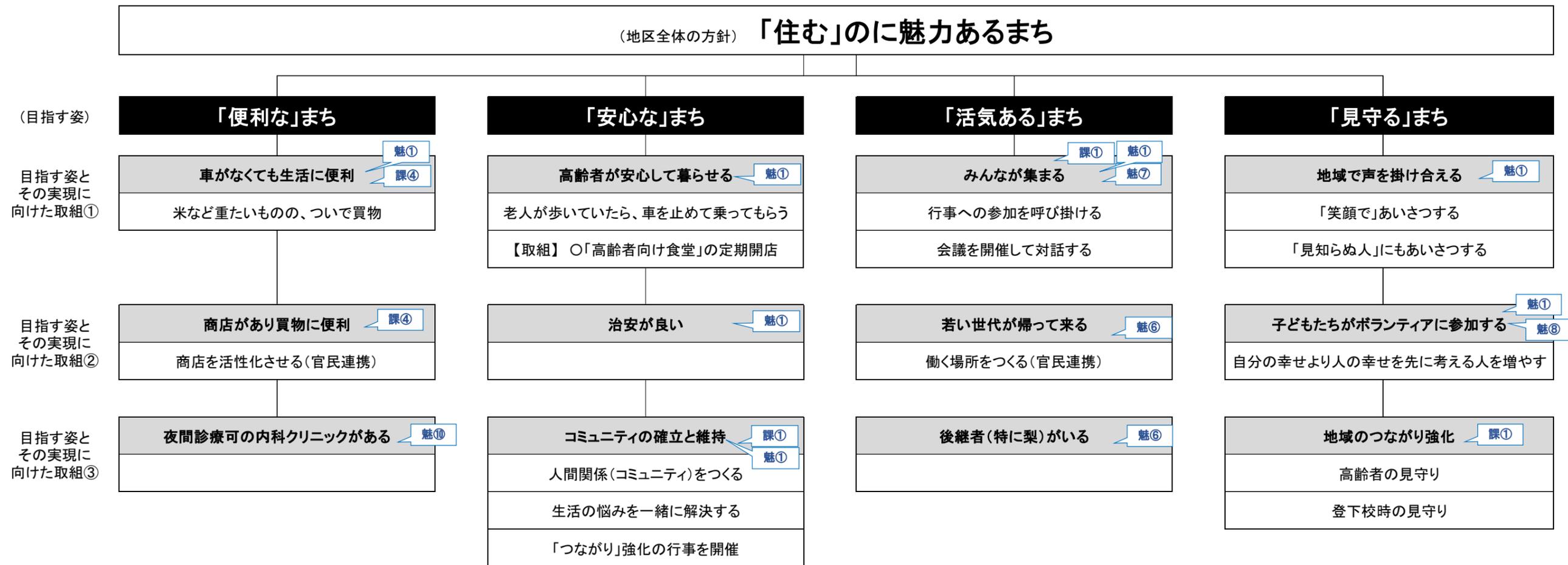
場所：桜山中央集会所

【桜山地区の参加状況】

参加者数：4名



■桜山地区で話し合った目指す姿と具体的な取組みの例



地区の課題	1 人手不足・連携不足 ・地域活動に消極的。 地域内で連携ができていない[3] ・民生委員・行政協力員などの高齢化(高齢化率35.9%/市内5位) ・住まいはあるが、住民票が他地域という住民世帯があり、町内会に入らない ・地域コミュニティができていない	課①	地区の魅力	1 住民・ボランティアの活躍 ・町内会長が若い ・高齢者が頑張っている(活動に参加) ・ボランティアで管理されている綺麗な花壇	魅①
	2 リサイクル・ゴミ出し ・リサイクル当番、ゴミ出しルールが徹底されていない[2]	課②		2 桜 ・桜山という地区名が良い ・西公園(ぞうさん公園)の桜が綺麗[2]	魅②
	・空き家による災害が心配	課③		・郵便局・コンビニがある口 ・三段池にホテルがある ・昔、うさぎ狩りがあった	魅③ 魅④ 魅⑤
	・商店がない	課④		・気楽さ(よそ者の集まり)があり、窮屈さがない ・町と一緒に作ってきた感がある(仲間意識) ・小学生と高齢者でゴミ拾いをしている ・海が見える ・整形外科・歯科がある	魅⑥ 魅⑦ 魅⑧ 魅⑨ 魅⑩